

「県民の日」を迎えました

— 鹿児島県の未来のために —

昨年12月、明治150年を記念し、7月14日を「県民の日」として制定しました。
令和という新しい時代の幕開けとともに、初めて「県民の日」を迎えたことを記念して、鹿児島県の未来に向けた子どもたちのメッセージや「県民の日」にちなんで行われた取り組みの一部をご紹介します。



鹿児島のシンボル 桜島

「県民の日」は、鹿児島の歴史や文化などを見つめ直し、より豊かな鹿児島の未来について県民の皆さんがともに考える日です。
そこで今回は、未来を担う子どもたちが「県民の日」に際して寄せた、「鹿児島に對する想い」をご紹介します。

わたしたちの「鹿児島に對する想い」

「県民の日」にちなんで取り組み

県内施設の入館料などが無料に



鹿児島の歴史を学ぶ来館者（歴史資料センター黎明館）

「県民の日」を中心に県や市町村、民間の施設などで入館・入園料が無料化され、多くの方に各施設を訪れていただきました。県有施設の無料化の取り組みは、今後、毎年実施されます。

御楼門の実物大 全景シートライトアップ



ライトアップされた実物大全景シート

2020年3月の完成に向け、建設が進んでいる鶴丸城御楼門。皆さんに完成を楽しみにしてもらえよう、「県民の日」に合わせ、建設地で御楼門の実物大全景シートのライトアップを開始しました。（日没～午後10時）

このほかにも、県内各地の学校で子どもたちが鹿児島の歴史や文化を学び、郷土への理解と関心を深める取り組みなども行われました。

県民の日の由来

なぜ7月14日なの？

鹿児島県が誕生した明治4年の廃藩置県布告日が7月14日であったことから、この日を「県民の日」としました。

問い合わせ先

県庁文化振興課 Tel.099-286-2534

助産師として地域を支えたい

私の夢は、故郷の曾於市で助産師として活躍することです。曾於市には助産院や出産できる産婦人科がないため、妊婦さんが地元で安心して出産できるよう、お手伝いしたいと考えています。明治維新から150年。新しい時代を築くべく活躍した志士の熱い思いを引き継ぐのは私たちです。故郷を思う強い気持ちと人を思いやる優しい気持ちを持って、夢へ、鹿児島の未来へと歩いていきます。



曾於市立大隅中学校3年 戸越 和望さん

鹿児島を多くの人が訪れる場所へ

私たち鹿児島玉龍高校の生徒は、西郷隆盛の墓がある南州神社をはじめとする周辺地域の清掃活動を行っています。その中で、知らなかった歴史や、地域の人々の温かさに気づくことができ、鹿児島をもっと好きになりました。鹿児島を住みよく、たくさんの人に来てもらえる場所にするため、みんなで鹿児島の魅力を再発見し、魅力あふれる鹿児島を全国に届けたいです。



鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校2年 辻 和真さん

種子島の自然を守りたい

ビッチョとは、種子島の川にいるエビのことです。自然に囲まれた種子島で、私は生まれ育ちました。島には「世界一美しい発射場」と呼ばれる海岸線に面したロケット発射場があり、打ち上げの日には観光客が押し寄せて活気づきます。未来を考える上で、世界遺産の屋久島や、私の住む種子島の役割は非常に大きいと思います。故郷の良さを発信しながら、ビッチョが泳ぐ豊かな自然を守っていきたいです。



中種子町立中種子中学校3年 日高 優理さん

鹿児島の素晴らしさを広めたい

私の父は、皮まで食べられる「神バナナ」を栽培しています。メディアで紹介され、最近では全国から注文がきていて、こんな素晴らしい仕事をしている父を誇らしく思います。鹿児島は、全国でも有数の農業県です。食料を輸入に頼っている今、日本をリードしていくのは鹿児島かもしれません。「神バナナ」のように、まだ知られていない鹿児島の素晴らしさを広めるために、鹿児島を知り、多くの人と交流したいです。



南九州市立川辺小学校6年 堂蘭 莉亜那さん

剣玉で鹿児島を元気にしたい

ぼくの特技は剣玉です。昨年、南部九州代表として、全国大会に出場しました。ぼくには「剣玉で鹿児島を元気にしたい。」という夢があります。剣玉一つあれば、どこでも、誰とでも楽しくコミュニケーションを図ることができます。また、剣玉には、集中力を高める効果もあります。技術を磨き、多くの人に素晴らしさを伝えることで、鹿児島を元気にしたいです。



出水市立大川内小学校6年 葛 賢伸さん

鹿児島の偉人を見習って役立つ人に

関ヶ原の戦いで敵中突破して鹿児島に帰ってきたことで有名な島津義弘公は、湧水町の松尾城に5年間住んでいたそうです。義弘公をはじめ、たくさんの偉人が鹿児島から出ています。調べると、どの偉人も日本や鹿児島のために懸命に働いてきたことが分かります。ぼくは、鹿児島に役立つ人になるため、高い技術を身につけたエンジニアを目指し、勉強を頑張ります。



湧水町立栗野小学校6年 佐土原 大志さん

子どもたちのメッセージ全文は 県ホームページでご覧いただけます

ホームページはコチラ

